



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月14日

上場会社名 株式会社ジモティー 上場取引所 東
コード番号 7082 URL <https://jmtty.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）加藤 貴博
問合せ先責任者 （役職名）取締役 コーポレート担当 （氏名）堀 直之 TEL 03-6630-2450
半期報告書提出予定日 2025年8月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	945	2.7	278	△5.2	284	△4.1	236	14.9
2024年12月期中間期	920	2.4	294	△15.7	296	△16.9	206	△27.4

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	23.90	—
2024年12月期中間期	20.89	20.65

- （注）1. 2025年12月中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当社は、2025年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり中間純利益及び潜在株式調整後1株当たり中間純利益を算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	2,339	1,577	67.4
2024年12月期	1,720	1,340	77.9

（参考）自己資本 2025年12月期中間期 1,576百万円 2024年12月期 1,340百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00			
2025年12月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,028	14.2	559	0.0	564	0.0	465	△1.3	46.95

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2025年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年12月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2025年12月期中間期	9,970,826株	2024年12月期	9,970,826株
2025年12月期中間期	65,854株	2024年12月期	65,800株
2025年12月期中間期	9,905,006株	2024年12月期中間期	9,864,734株

(注) 当社は、2025年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2025年8月14日（木）に機関投資家・証券アナリスト向け説明会を開催する予定であります。当日使用します決算補足説明資料は、説明会開催後当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されております。一方で、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響や、通商政策などアメリカの政策動向による影響などが、我が国の景気を下押しするリスクとなっております。

このような環境の中、当社はクラシファイドサイト「ジモティー」を通して、地域の情報が幅広く集まるプラットフォームを提供することで、地域の情報を可視化し、地域のモノや人のマッチングを推進してまいりました。当社では、持続的なプラットフォームの成長のために、地域内で互いに必要なモノや情報を融通しあえる場所へと進化するべくサービスの改善に努めてまいりました。具体的には、モノや情報の量を増やし可視化させるための取り組みとして、機能開発等によるプラットフォームの利便性向上やユーザーにとって有益な情報の充実化に注力してまいりました。また、ユーザー数拡大及び収益モデル拡充の取り組みとして、自治体連携リユース拠点「ジモティースポット」の多店舗展開を開始し、ごみの減量とリユース数の最大化を図ってまいりました。さらに、広告による収益化領域について、運用型広告配信プラットフォーム「ジモティーAds」による自社広告販売の拡充や新たな商品開発を推進してまいりました。

以上の結果、当中間会計期間における売上高は945,067千円（前年同期比2.7%増）、営業利益は278,666千円（同5.2%減）、経常利益は284,180千円（同4.1%減）、中間純利益は236,750千円（同14.9%増）となりました。

中間純利益の増加の主な要因は、繰延税金資産の額を89,860千円計上し、法人税等調整額を4,389千円（前年同期比△38,763千円）計上したことによります。これは、将来の課税所得に関する予測に基づき、将来の税金負担額を軽減する効果を有する範囲内で計上しております。

なお、当社はクラシファイドサイト運営事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間会計期間末における流動資産は2,065,541千円となり、前事業年度末に比べ522,189千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が487,443千円増加、売掛金が28,997千円増加、未収入金が22,042千円増加したことによるものであります。固定資産は274,296千円となり、前事業年度末に比べ97,460千円増加いたしました。これは、有形固定資産が60,115千円増加、投資その他の資産が37,730千円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は2,339,837千円となり、前事業年度末に比べ619,649千円増加いたしました。

(負債)

当中間会計期間末における流動負債は442,689千円となり、前事業年度末に比べ86,012千円増加いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が60,000千円増加、預り金が31,186千円増加したことによるものであります。固定負債は319,881千円となり、前事業年度末に比べ296,933千円増加いたしました。これは、長期借入金が291,666千円増加、資産除去債務が5,933千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は762,571千円となり、前事業年度末に比べ382,946千円増加いたしました。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は1,577,266千円となり、前事業年度末に比べ236,703千円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が236,750千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は67.4%（前事業年度末は77.9%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ487,443千円増加し、当中間会計期間末には1,789,943千円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は246,664千円（前年同期は153,774千円の獲得）となりました。これは主に、税引前中間純利益284,180千円、一方で、売上債権の増加額28,997千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は109,854千円(前年同期は29,015千円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出58,888千円、敷金の差入による支出50,561千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は350,632千円(前年同期は165,441千円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の借入れによる収入400,000千円、一方で、長期借入金の返済による支出48,334千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点で、2025年2月14日に「2024年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、当業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後業績予想を修正する必要がある場合には、速やかに開示いたします。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当中間会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,302,500	1,789,943
売掛金	161,458	190,455
前払費用	25,201	9,146
未収入金	53,939	75,982
その他	250	12
流動資産合計	1,543,351	2,065,541
固定資産		
有形固定資産	24,884	85,000
無形固定資産	16,304	15,918
投資その他の資産	135,647	173,377
固定資産合計	176,836	274,296
資産合計	1,720,187	2,339,837
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,678	11,894
1年内返済予定の長期借入金	60,000	120,000
未払金	36,950	42,932
未払費用	69,651	64,671
未払法人税等	59,862	51,784
契約負債	62,742	66,758
預り金	31,575	62,762
その他	26,216	21,887
流動負債合計	356,677	442,689
固定負債		
長期借入金	15,000	306,666
資産除去債務	7,281	13,215
その他	665	-
固定負債合計	22,947	319,881
負債合計	379,624	762,571
純資産の部		
株主資本		
資本金	308,657	308,657
利益剰余金	1,081,529	1,318,280
自己株式	△50,133	△50,180
株主資本合計	1,340,053	1,576,756
新株予約権	509	509
純資産合計	1,340,563	1,577,266
負債純資産合計	1,720,187	2,339,837

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	920,536	945,067
売上原価	90,035	89,039
売上総利益	830,500	856,028
販売費及び一般管理費	536,443	577,361
営業利益	294,056	278,666
営業外収益		
受取利息	21	723
預り金失効益	3,747	1,499
補助金収入	-	4,000
雑収入	225	457
営業外収益合計	3,995	6,680
営業外費用		
支払利息	383	1,052
支払手数料	599	-
雑損失	779	113
営業外費用合計	1,762	1,166
経常利益	296,289	284,180
特別損失		
固定資産除却損	556	-
特別損失合計	556	-
税引前中間純利益	295,732	284,180
法人税等	89,662	47,430
中間純利益	206,070	236,750

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	295,732	284,180
減価償却費	4,135	12,172
有形固定資産除却損	556	-
受取利息	△21	△723
預り金失効益	△3,747	△1,499
補助金収入	-	△4,000
支払利息	388	1,052
支払手数料	599	-
売上債権の増減額 (△は増加)	9,533	△28,997
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,631	2,216
未払金の増減額 (△は減少)	△151,529	6,853
その他の資産の増減額 (△は増加)	14,963	△4,876
その他の負債の増減額 (△は減少)	16,750	28,575
その他	413	-
小計	193,403	294,956
利息の受取額	21	723
補助金の受取額	3,898	4,000
利息の支払額	△383	△1,118
法人税等の支払額	△43,164	△51,896
営業活動によるキャッシュ・フロー	153,774	246,664
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△17,767	△58,888
無形固定資産の取得による支出	△4,889	△1,381
敷金の差入による支出	△32,582	△50,561
敷金の回収による収入	26,839	977
資産除去債務の履行による支出	△616	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,015	△109,854
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	400,000
長期借入金の返済による支出	△30,000	△48,334
リース債務の返済による支出	△486	△985
自己株式の取得による支出	△150,555	△47
自己株式の処分による収入	15,600	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△165,441	350,632
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△40,682	487,443
現金及び現金同等物の期首残高	1,120,162	1,302,500
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,079,479	1,789,943

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を当中間会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による中間財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

当社は、クラシファイドサイト運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

当社は、クラシファイドサイト運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。